

心はずませ ひのきしん



北海道教区報

第 613 号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南 8 条西 11 丁目
電話 011 (561) 1148
FAX 011 (561) 1190
E-mail: tenrikyo.hk@gmail.com
ホームページ
<https://tenrikyohk.com>

少年ひのきしん隊

少年会北海道教区団（大脇直丸団長）は、7 月 29 日から 31 日までの 2 泊 3 日、おぢばの少年ひのきしん隊本部練成会合同隊に、隊員男子 7 名、女子 6 名、カウンセラー 13 名の計 26 名で入隊した。

教区団は、7 月 28 日に千歳より飛行機にておぢばに向けて出発。機材点検のため、3 時間程出発が遅れたが、無事おぢばに帰らせていただくことができた。29 日には、南海詰所で事前研修を行い、その後の結団式にて少年ひのきしん隊本部練成会合同隊に入隊した。

連日 35℃ を超える暑さの中、「お茶いかがですかー」のかけ声で、お茶接待ひのきしんをつとめ、訪れた方々にひと時の涼



お茶接待ひのきしん



ふせこみ行事

少年ひのきしん隊 感想文より

北海道教区のみんなとの仲を深める事ができて、とても嬉しいです。行進やお茶ひのきしん、夜のお楽しみ会など、協力して助け合うという事ができたことにも嬉しく思っています。

と明るい笑顔を届けた。猛暑の中、熱中症も心配されたが、全員揃って最終日までつとめる事ができた。

期間中は、お茶接待ひのきしん、ふせこみ行事やお楽しみ行事にも参加し、夏のおぢばでしか味わえないかけがえのない時間を共に過ごした。



自分が 1 番楽しかったのは、お楽しみ会とお茶接待、ふせこみ行事です。お楽しみ会では、違う教区の人と沢山話して、今でも覚えてくれたのが嬉しかったです。お茶接待では、「コールや「お茶どうぞ」の声がけをして、ありがとを沢山言ってくれたのも嬉しかったです。ふせこみ行事では、よるつよのてをどり学びを教室でした事で、てをどりにも興味を持ちました。

少ひを通して、天理教に少しは興味をもち、他の教区の人とも仲良くでき、楽しい思い出ができてよかったです。（中学 3 年 古屋友貴）



教祖140年祭

すべて喜び
すべておたすけ

北海道教区

教祖 140 年祭 北海道教区スローガン

各地の動き

●道の学生ひのきしんデー

十勝支部学生会

十勝支部学生担当委員会(中村洋光委員長)は、8月17日、新得町の佐幌分教会で、道の学生ひのきしんデーを開催。

教区より高橋清彦学生担当委員長、野村夏実学生会委員長、松村卓也副委員長が巡回に訪れ、釧根支部の田中智久委員長にもお越しいただき、19名(内学生8名)が参加しました。

この3年間、支部から春の学生おぢばがえりに9名の学生が参加しました。しかし広い十勝では一堂に会しての行事が難しく、支部独自の学生会行事の開催に二の足を踏む状況でした。

教祖140年祭春の学生おぢばがえり大会開催の打出しを受け、「私達大人が思うよりも学生が学生でいれる期間は本当に



ゴミ拾いひのきしん

短く、先延ばしにしている間に大切な人材を失い兼ねない」との思いから、10年に一度のこの大きな旬に「一人でも多くの学生をおぢばに!」と、6月より新体制となった中村委員長、福田

陽一副委員長のちよっと暴走気味の提案から始まり、近



隣支部の委員長にも企画相談し当日を迎えました。

学生会活動の経験がない不慣れな二人による進行で戸惑いながらも、教区学生会の力を借り、自己紹介、アイスブレイク、ひのきしんウォークラリー、BBQと盛り上り、キラキラと輝く学生



の笑顔に喜びを感じながら、あっという間に解散の時を迎えました。

最後のスピーチでは喜びの声や春の学生おぢばがえり大会の参加を約束してくれる学生もいました。

何も分かんず開催した学生会。学生さんを始め、携

わってくださった皆さんの笑顔が最高の御褒美となりました。来年の春の学生おぢばがえり大会に一人でも多くの学生さんに参加していただけるように支部内で声掛けさせていただきます。

●函館支部婦人会総会

函館支部婦人会(青井理恵主任)は、7月5日、松風分教会で「立教188年度総会」を開催。婦人会員69名、その他7名の計76名が参加した。

十二下りのおつとめ後の総会式では、開会の辞、会務・会計報告、教区婦人会主任ご祝辞、主任挨拶、支部長ご祝辞、誓いの言葉、婦人会歌斉唱、閉会の辞、と滞りなく執り行われた。続いて北港分教会会長の大山和徳氏を講師に迎え、記念講演

を拝聴した。

函館支部では、この伝統ある行事を次世代へと繋ぐべく、若い世代への声かけが積極的に行われている。参加者一同は、教祖の教えを守り、一手一つに老いも若きも共にひのきしんに励み、教会活動に努めていくとの思いを新たにしました。来期に向けては、年々増す暑さを考慮し、開催時期の見直しも検討される予定。



※詳細やその他写真は、こちらのQRコードから



●ふせこみひのきしん

教務支庁にて毎月29日

7月29日は、玄関、各会口、廊下、階段、トイレ掃除と大小会議室、神殿掃除、畳拭き、窓拭きを行い、14名が参加しました。

ありがとうございました。



神殿掃除



トイレ掃除



窓拭き

くちびるに喜びを、心におやすみを
“おたすけの現場で感じていること”

—日高支部長 和田 与志男—



日高支部は、胆振のむかわ町、厚真町を含め、平取町、日高町、新冠町、新ひだか町、浦河町、様似町、えりも町の9町に跨っています。横に長く距離は150キロ弱あり、例会は主に中心部の教会にお願いしていますが、今年は移動例会で各教会に足を運んでいただいています。

例えば、おたすけの現場で一番多い返答は「わかる」「わかるわ」「よくわかる」という相づちです。相手の言うことがわかるというのは本当は至難の技です。「わかる」という相づちは、聞き手が自分なりにわかったという、自己満足の相づちです。「わかる、わかる」と相づちを繰り返されると、心のどこかで「そんなにわかられてたまるものか」という反発が起ってきます。人の心などそうそうわかるものではありません。

また、「今の時代は」とか「昔前は」などと、話しの主語が大きくなればなるほど相手の心から遠ざかってしまいます。そんな時こそ、一人ひとりとじっくり向き合って時間をかけて相手の話を充分に聞き取っていくことが必要だと考えています。以前、カウンセリングを学ん

に相手の人間性と心を見抜けるくらいなら聞く必要などないでしょう。丁寧に相手の話を聞くのは、わからないからです。

「あなたはどのように苦しいの?」と心を込めて聞き続ける態度を持つことが、いつか必ずその人の心や言葉に力をつけていくことになるのだと私は信じ



ています。

またおたすけで、この頃気になるのは「ギブ・アンド・テイク」の思想が多くなってきたのではないかと、いうことです。「これくらいの事をしているのだから、このくらいはしてくれてもいいはずだ」「相手がこうしてくれたら自分もこうす

るのに」この考え方の怖いところは、期待したものが返ってこないときに不足や不満を持ちやすいということです。

「人は要求すればするほど苦しまなくてはならない」という言葉があります。何か問題が起こり、そのおたすけに掛かっている時、にっちもさっちもいかず、膠着状態になることがあります。

そのような時は問題に関わる人が皆、誰かに何らかの動きを要求して、自分たちはじっと動かずにいる場合が多いように思っています。

誰か一人でもいいから見返りを求めずに動く人がいれば、状況が変わるきっかけになることも多いのですが、お互いに不足や不満を持ち合っている場合、そう言う人が登場しにくい、という事があります。

本当に大切なことは、悩み苦しんでいる側に共にいて、その人自身の「魂探し」の手助けをすることだと思います。そのことで、おたすけに掛かる者も結果的に自らの魂や心を見つめ直し、磨かせていただくことが

できるのだと考えています。

「この人のせいで・・・」と周囲から犯人扱いされていた人が、「この人のお陰で色々勉強になりました」と恩人になつていくとき、初めて問題が解決に向かっていくのだと思います。

今、世の中は子育てが大変だとか、親を見るのは負担だとか、自分は犠牲になりたくないというような家族が増えているようですが、自分以外の事に思いを尽くす、心を尽くすことは全部我が身の幸せの元だと教えて頂きます。

今、自分たちが足下に出会っている、本当の命の親と出会っている、本当の故郷を知っている。その事を私たち自身、また私たち用木がどれ程有難いなおと喜んでいくか。これが私達の匂いだと思っています。

9月は、全教会布教推進月間と聞かせて頂き、月末には全教一斉にをいがけデーがあります。勇んで一人でも多くの方々と共に、信仰者としての喜びの日々を、地域に映していきたいと思っています。



9 月は全教会布教推進月間

～ 一手一つに世界たすけの歩みを進めよう ～

従来から例年 9 月を「にをいがけ強調の月」として勤めているが、
年祭活動の中で、本年 9 月は「全教会布教推進月間」と更なる意識で布教を。



立教 188 年全教一斉にをいがけデー

9 月 28 日 (日) 29 日 (月) 30 日 (火)



年祭活動として戸別訪問や
リーフレット配布など、布教を
心定めし、日常的に励んでいる

としました。

実動後は、教務支庁に戻り、
ねりあいを実施。それぞれが、
実動中に感じたこと、一緒に
廻ったパートナーから学んだこ
となどを共有し、お互いの学び

心を含めて布教に廻った。
実動後は、教務支庁に戻り、
ねりあいを実施。それぞれが、
実動中に感じたこと、一緒に
廻ったパートナーから学んだこ
となどを共有し、お互いの学び

強い日差しが照りつけ、タオ
ルで汗をぬぐいながら、同じ道
を志す仲間とともに、親神様の
御守護、またその親心をお伝え
しようと、約 1 時間程 1 軒ずつ

定例にをいがけ
やまびこ会

◆やまびこ会のご案内◆
布教を志す者の会として、に
をいがけ活動を中心に実動して
います。どなたでもご参加いた
だけます。
次回は、9 月 16 日 13 時 30 分
教務支庁集合

参加者のお話も聞かせていた
いた。決して容易ではない、布
教を継続する力をお与えいた
ける心定めの大切さ。その重要
性とありがたさを心にたずさ
えて、それぞれの帰路へつた。
(代表 藤野充普)



戸別訪問

●毎月実施中
にをいがけ Walker 北海道

8 月 16 日、6 名の参加者が
それぞれの住む地域からオン
ライン上に集合し、内田誠司
布教部長の挨拶後に、それぞ
れの場所での路傍講演、神名流
し、戸別訪問、おつとめなど
の実動を行った。
詳細などは教区布教部まで。



オンライン画面の様子

けいじばん

◎法律に関わる諸問題でご相談
の方は弁護士を紹介致します。
所属教会を通して教務支庁
書記・渡部までご連絡下さい。
◎毎月 26 日に本部月次祭遥拝式
を午前 10 時より行っています。

◎ホームページでは、教区報に未
掲載の記事や投稿いただいた記事
も随時掲載しています。
また記事の投稿もよろしくお願
い致します。

北海道教務支庁日誌抄

8 月 2 日 青年会 Meets!

5 日 たすけ推進会議

7 日 一手一つお願いつとめ

支部長会議

9 日 札幌中南支部例会

16 日 やまびこ会

17 日 会計部会議

23 日 教区長帰本

合唱団練習

学生会夏休み行事

(24 日)

25 日 教区長会議

26 日 本部月次祭遥拝式

29 日 教務支庁ふせこひのきしん

たすけ推進会議

教区長帰庁

30 日 一手一つお願いつとめ

支部長会連絡事項配信

福祉フェスティバル

合祀慰霊祭

31 日 第 2 回北海道教区祭

計報

立教一八八年・令和 7 年

・高橋 修司様 7 月 29 日出直 (87 歳)
北太平洋教会長夫君 (札幌北西支部)